



2024年3月期 決算説明資料

東証STANDARD
(6864)

株式会社エヌエフホールディングス

1. 2024年3月期 決算概要

● 連結損益

(単位：百万円)

	2023年3月期	2024年3月期	前年同期比 増減率(%)
売上高	9,642	9,399	△2.5
営業利益	467	418	△10.4
経常利益	622	484	△22.1
親会社株主に帰属する 純利益	457	323	△29.2
1株当たり純利益(円・銭)	65.12	46.14	-

- ◆ 売上は、計測制御デバイス関連分野と電源パワー関連分野は堅調に推移しましたが、環境エネルギー関連分野における家庭用蓄電池システムの新商品開発遅延・販売済商品のソフトウェア不具合発生の影響を受け、前期比減収となりました。
- ◆ 利益面では、営業部門の販売効果・効率の追求や、製造拠点集約・生産性向上による原価低減に努めましたが、売上減少や部材価格の上昇に伴い、前期比減益となりました。

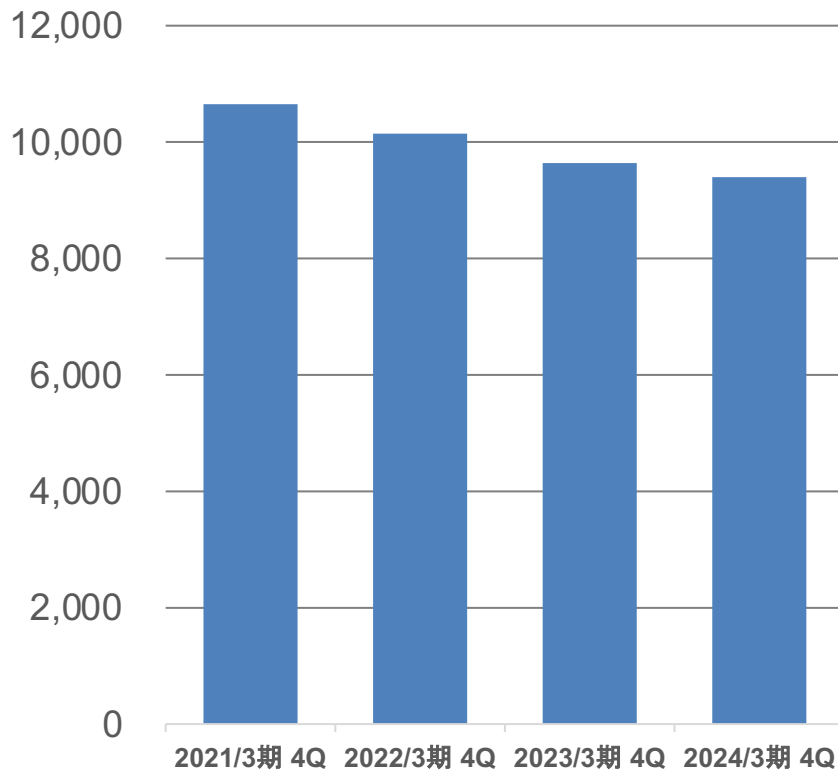
売上高・経常利益の推移



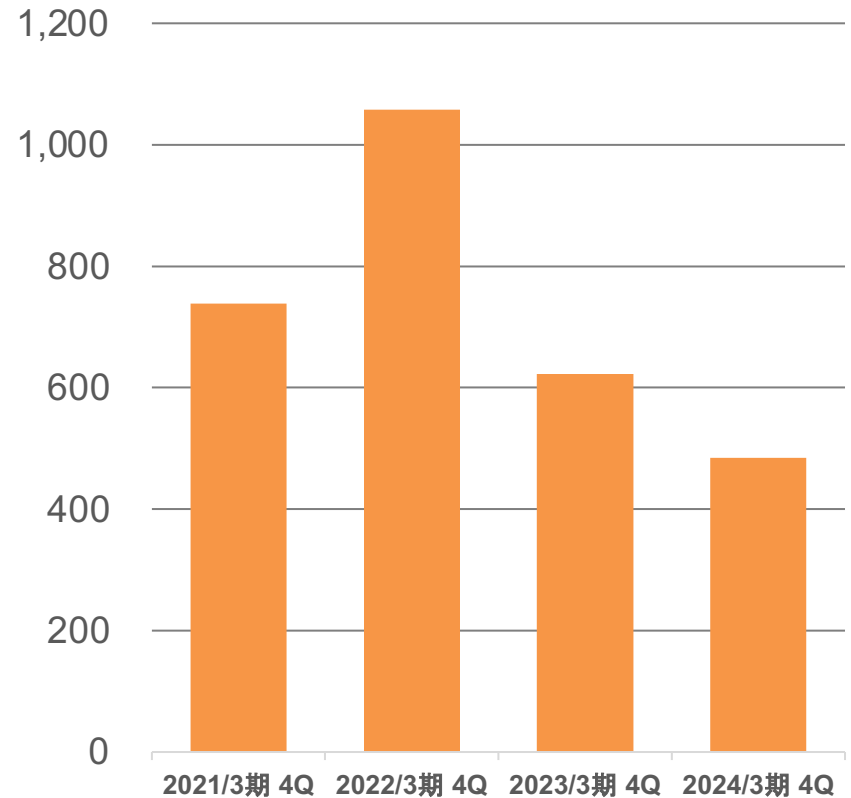
(単位：百万円)

(単位：百万円)

売上高



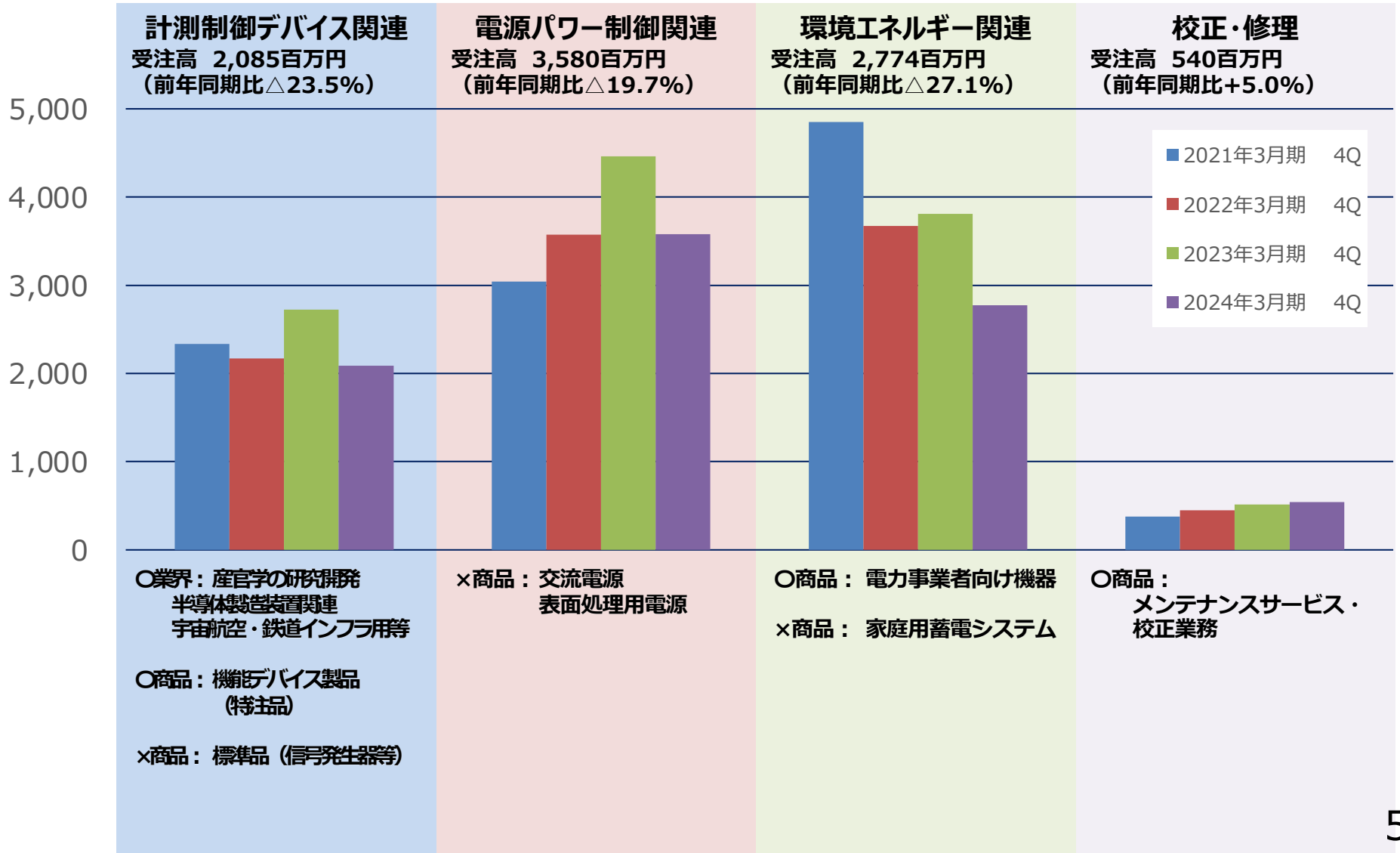
経常利益





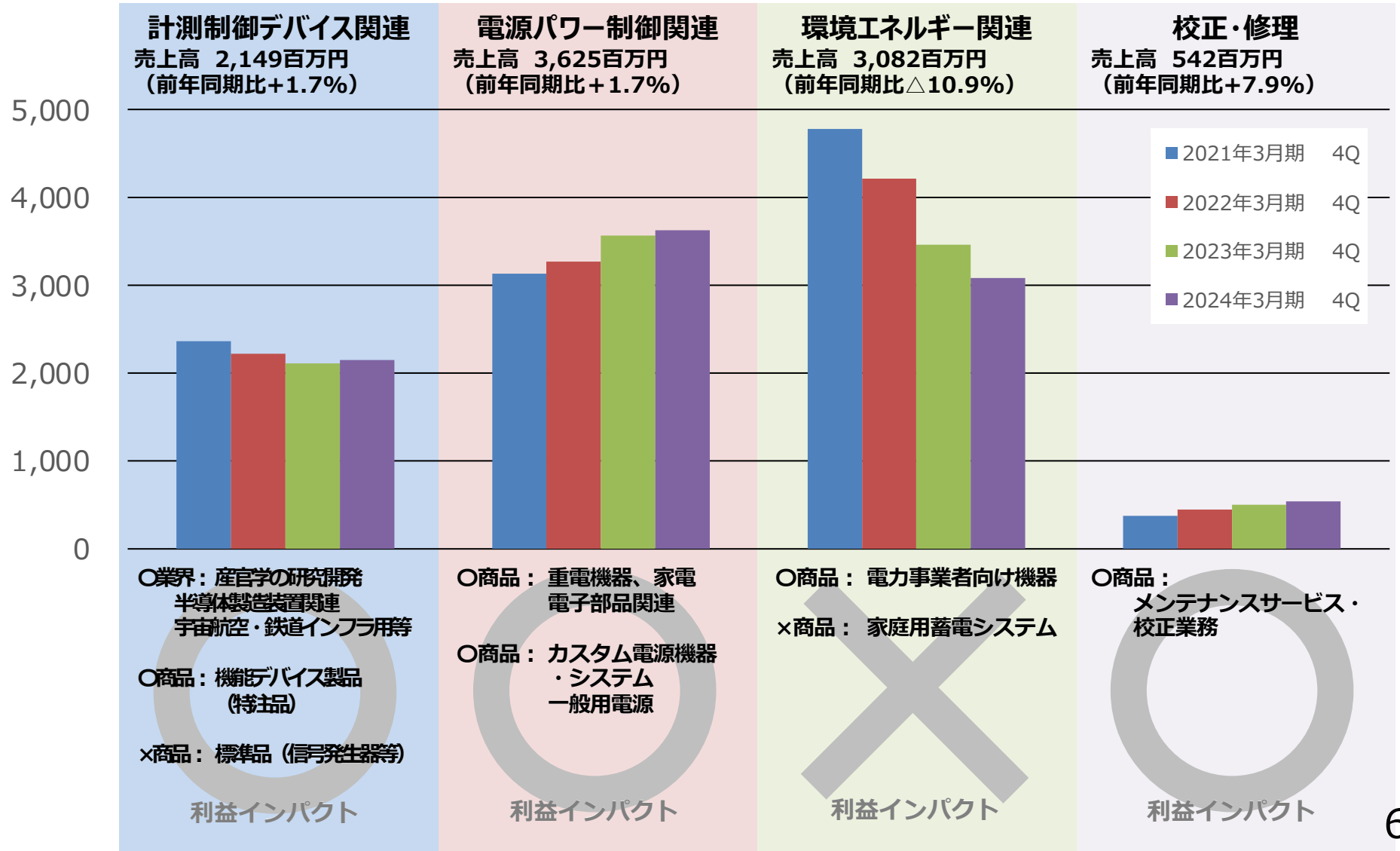
事業分野別受注高

(単位：百万円)



● 事業分野別売上高

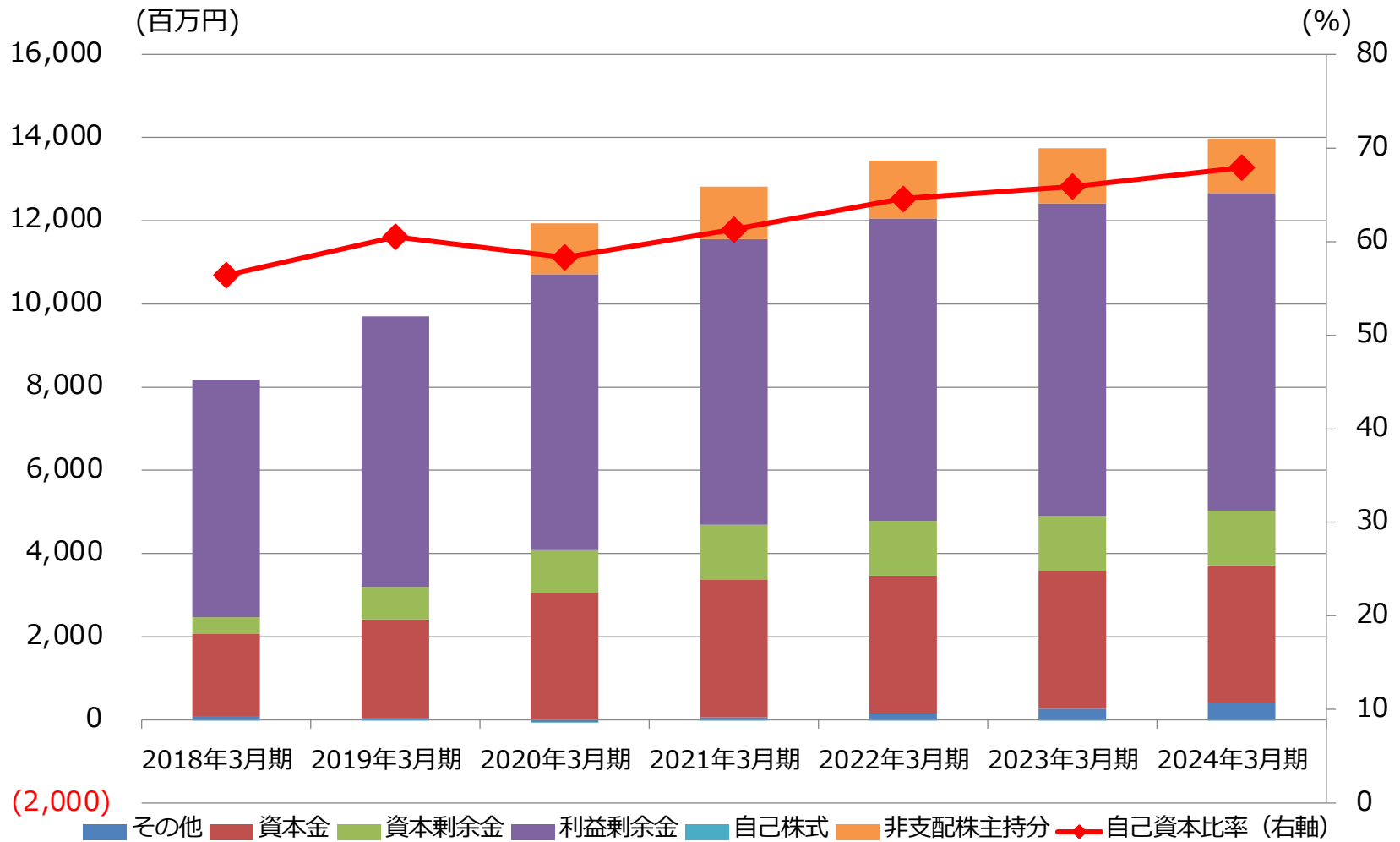
(単位：百万円)



● 連結貸借対照表

	2023年3月期	2024年3月期	増減	(単位：百万円)
現預金	5,529	5,341	△188	
売上債権	3,323	3,257	△66	
たな卸資産	4,449	4,389	△60	
その他	235	249	+14	
流動資産 計	13,538	13,237	△301	
固定資産 計	5,289	5,389	+100	
資産合計	18,827	18,627	△200	
仕入債務	1,304	1,435	+131	
短期借入金・社債	220	510	+290	
その他	1,536	1,044	△492	
流動負債 計	3,061	2,989	△72	
長期借入金・社債	1,810	1,412	△398	
その他	239	288	+49	
固定負債 計	2,049	1,700	△349	
負債合計	5,111	4,690	△421	
純資産合計	13,716	13,937	+221	
自己資本比率	65.9%	67.9%	+2.0%	

自己資本の推移



◆ 2024年3月期末時点で、自己資本12,641百万円(除く非支配株主持分)、自己資本比率67.9%と、引き続き内部留保の維持による財務の健全性確保に努めてまいります。



2. 2025年3月期 事業展開

● VISION



Leading Company for Measurement & Control

人々に共感を持たれる新しい価値を創造し提供することにより、
社会からその存在を認められ期待される“計測・制御のリーディングカンパニー”

●Solid & Organic Blocグループ会社

エヌエフグループ会社は、

個々の力を **Solid** な固体質で結集し、その事業展開を**Organic Bloc**として
有機的に協調し、お客様に新しい価値を創造し提供します。

●お客様と社会の課題を解決する、新価値創造グループ会社

エヌエフグループ会社は、

グローバルな持続可能目標への貢献と科学技術発展への貢献を礎に事業成長し、
お客様に新しい価値を創造し提供します。

● エヌエフグループの市場



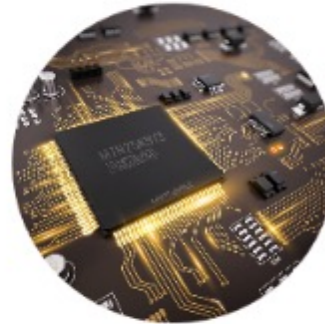
- ◆ エヌエフの製品は、産業機器、電機、自動車、社会インフラ（電力・鉄道など）から航空・宇宙に至る幅広い市場で活用されています



電力



クリーンエネルギー



エレクトロニクス製品



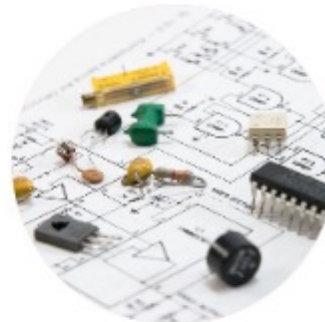
自動車



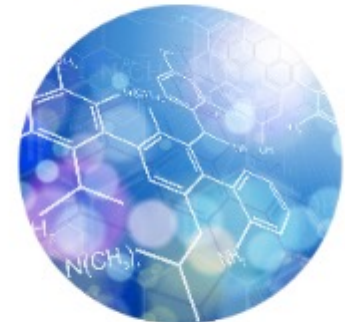
鉄道



航空・宇宙

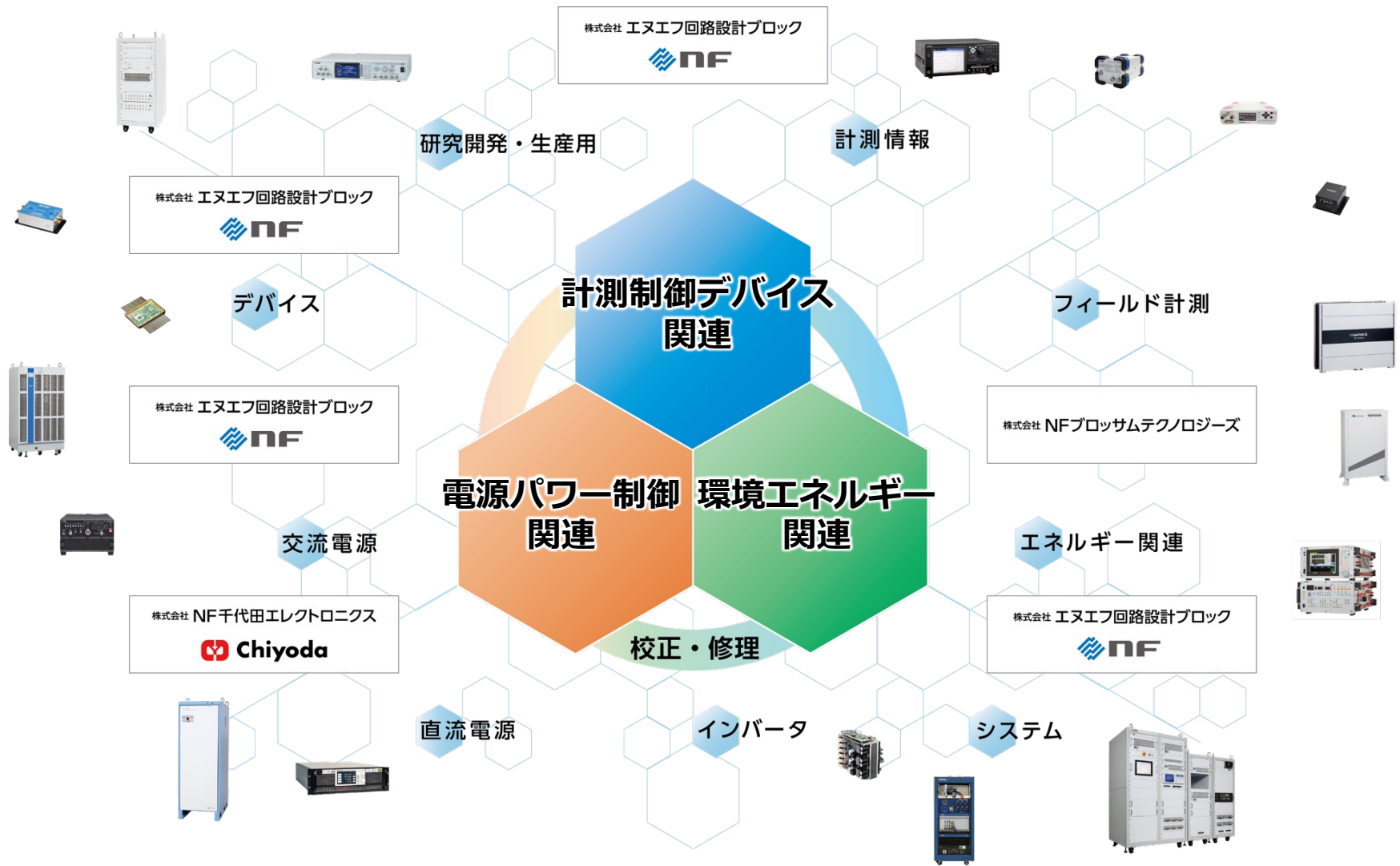


電子部品



研究

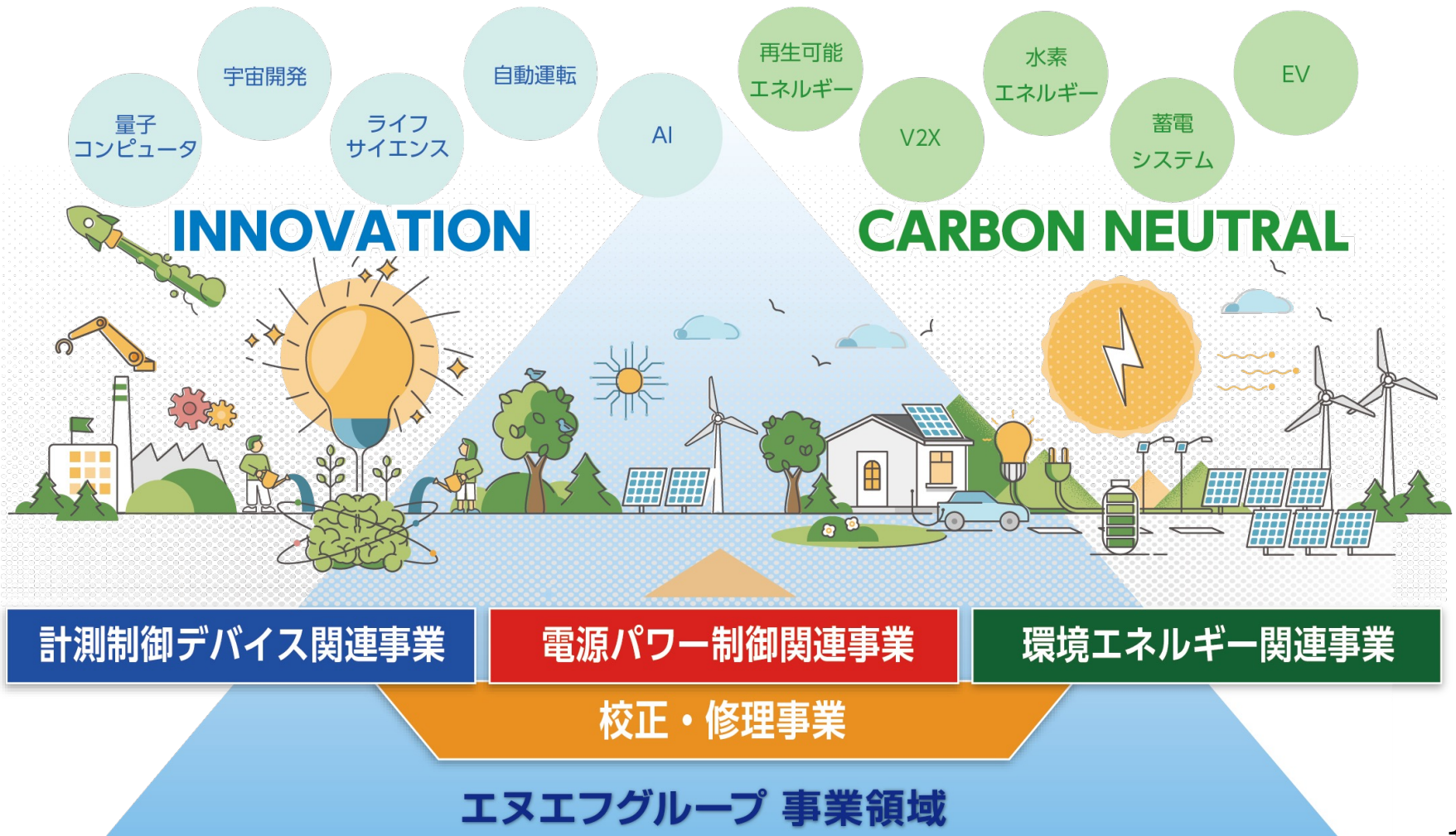
主要事業分野



● 豊かな未来への取組み



= 計測・制御技術で、未来を拓く新しい価値を創造します =



外部環境認識と事業方針

足元事業の強靱化と将来成長基盤の構築

- 高機能、高性能な計測・電源パワー制御分野で、新商品による営業強化
- 宇宙、航空、量子コンピュータ分野で、独自の新技术による新市場開発
- 脱炭素関連分野で、水素製造電源技術によるソリューション事業展開
- ヘルスケア関連分野で、精密計測技術によるソリューション事業展開

企業体質強化

- 製造拠点の山口集約
- 原価低減管理の強化
- 業務全般の効果効率向上

事業体制強化

- 北米販売拠点の活動強化
- 家庭用蓄電システム事業再構築

経営環境

- コロナ後の前倒し受注需要一巡
- 生産部材コストの高止まり

市場動向

- 円安による輸出産業の業績向上
- 中国市場成長鈍化・北米市場堅調
- 家庭用蓄電池市場の競争激化

注力商品

- ◆ 新商品の拡販を推進し、市場基盤の更なる強化・安定化と売上増強を進めます。

計測制御デバイス関連

- マルチファンクションジェネレータ
WF1981 / WF1982 / WF1983 / WF1984



必要な波形を容易に出力
テストの品質および効率向上に

発振周波数は0~60MHz (WF1983/WF1984) / 0~30MHz (WF1981/WF1982)、低ひずみの高品位波形で試験の再現性を高めました。パワーデバイス評価に用いられるダブルパルスを含む豊富な出力波形、多彩な発振モード、シーケンス機能など波形出力をサポートする機能を搭載しています。

- AEアナライザ
AE9701 / AE9702 / AE9702S



製造工程の異常を早期検出、生産設備のメンテナンスなどの用途に

測定器と測定・解析ソフトウェアを組み合わせ、AE信号を解析するシステムです。摩擦・摩耗などにより発生する“連続型AE信号”、亀裂・破損などによる“突発型AE信号”を解析する2種類のアプリケーションソフトウェアを用意しています。

注力商品

電源パワー制御関連

高速バイポーラ電源 HSA42051 / HSA42052



容量性負荷も誘導性負荷も安定駆動

周波数特性DC~500kHz、最大出力電圧300Vp-p、
最大出力電流2.83Ap-p (HSA42051) /
5.66Ap-p (HSA42052)
コンデンサ・コイルなどの電子部品をはじめ、新
デバイス開発などの試験においても他の電源・増
幅器では駆動できないDUTも安定駆動します。
医療・バイオなどの先端研究分野でも、広く使わ
れています。

プログラマブル交流電源 DP020AS



容量拡張も多相化も

同一モデルを自在に組み合わせてシステムを構築

DPシリーズの安定した出力性能をそのままに、複
数台接続による容量拡張と多相化に対応します。
単相2 kVA・3Uの1モデルをシステムケーブルで
接続するだけでシステムアップが可能となり、増
設も組み替えも容易です。
電子部品、自動車をはじめ、多様化・高度化する
試験ニーズに対応します。

注力商品

環境エネルギー関連

家庭用リチウムイオン蓄電システム SMART STAR ハイブリッド



太陽光発電用変換用パワーコンディショナーと蓄電池のパワーコンディショナーが一体化

「SMART STAR ハイブリッド」は、蓄電池のパワーコンディショナーのみ搭載している従来商品「単機能型」に比べ、電力変換回数が少なくなることから、電力使用効率に優れたシステムとなっております。

電圧2相電流2相保護リレー試験器 RX47022



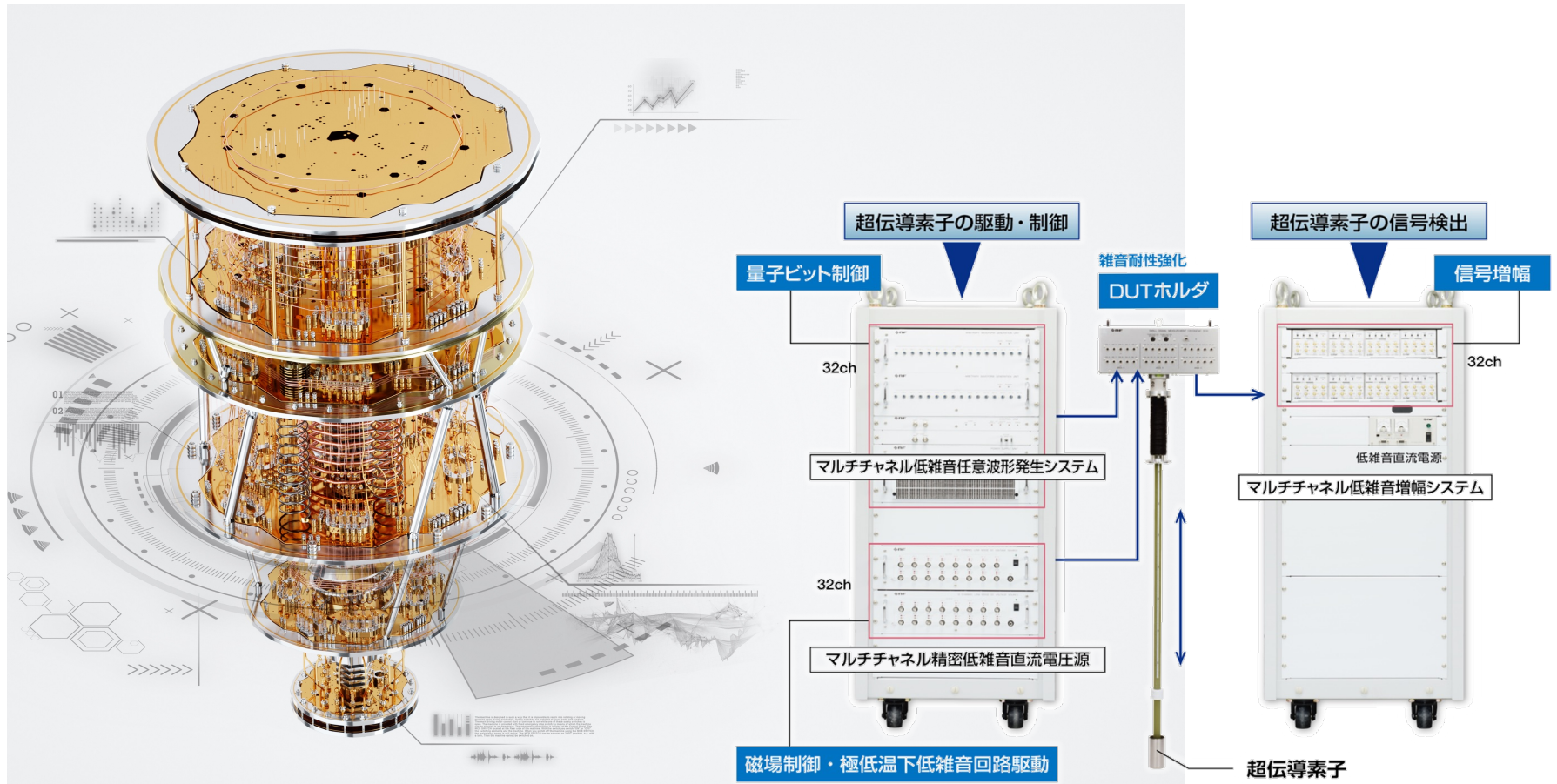
高圧受電設備もコージェネレーション施設もこの1台で様々なデジタルリレーの試験に対応

これまで複数のリレー試験器を組み合わせで行っていた、高圧受電設備やコージェネレーション施設の様々な試験を一筐体で対応可能にしました。商業施設やオフィスビル、工場など、保護機能試験に活用いただけます。

小型・軽量に加え、実際の作業に配慮した設計により、保守現場の作業性向上を追求しました。

● 新技術への開発投資

◆ 量子コンピュータやライフサイエンスなど、最先端技術分野において、エヌエフ製品の活用が進んでおり、更なる事業の拡大を推進してまいります。



量子コンピュータ向け低雑音信号処理ソリューション

● 新技術への開発投資

◆ 水素関連ビジネスで、水素生成に必要な直流電源等、工又エフ製品の活用事例が拡大しており、更なる市場投入に注力してまいります。



冷却性能向上

耐環境性向上

省スペース

静音化

消費電力低減

コンテナ収納対応



水冷方式 水素製造用直流電源

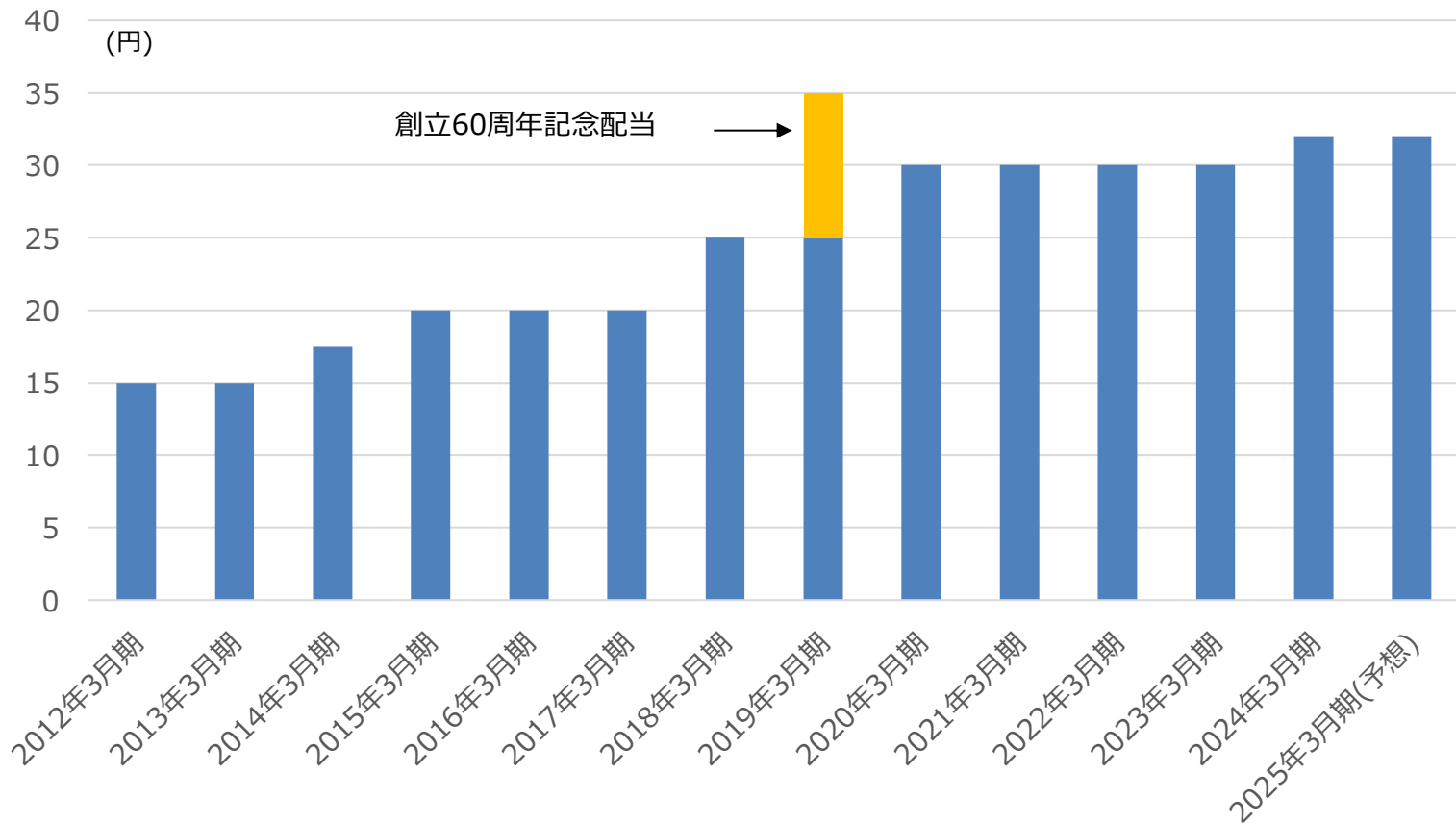
● 2025年3月期連結業績予想



(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期予想	増減(%)
売上高	9,399	9,500	+1.1
営業利益	418	500	+19.4
経常利益	484	520	+7.3
親会社株主に帰属する 純利益	323	360	+11.2
1株当たり純利益(円・銭)	46.14	51.29	-

1株当たり配当金の推移



- ◆ 配当につきましては、中長期的な発展をも見据え、経営的・総合的観点から、安定配当を基本に業績等を総合的に勘案して決定する方針としております。
- ◆ 2025年3月期配当は、1株当たり32円の配当を予想しております。

本資料における注記事項



本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な要素により、異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

■ IR問い合わせ ■

<https://nfhd.co.jp/form/inquiry.php>